

公募制推薦入試

数 学

I

■出題のねらい

数学 I， 数学 II， 数学 A， 数学 B の範囲で， 基礎的な事柄を問いました。

■採点講評

- (1) よくできていましたが， の計算ミスが少しありました。
 - (2) よくできていました。
 - (3) よくできていましたが， 「 a は 0 でない」という条件を見落とした解答もありました。
 - (4) はよくできていましたが， の数え上げのミスが目立ちました。
- 平均点は高いように感じました。

II

■出題のねらい

平面ベクトル， 三角関数を含む関数の極値について， 基本的な知識を問いました。

■採点講評

- (1) あまりできていませんでした。重心， 内心の性質をうまく使えるようにしましょう。
- (2) はよくできていました。 を $\frac{\pi}{2}$ とする誤答が多く見受けられました。
 を因数分解するのが難しかったようです。

III

■出題のねらい

対数関数を含む関数の微分や極値， および極限の基本的な知識について問いました。

■採点講評

- (1) よくできていましたが， 関数の微分計算ができていない解答や括弧をはずす際に + (プラス) や - (マイナス) を変えていない解答も見受けられました。
- (2) よくできていましたが， $\log x = -1$ が解けなかったり， $f'(x)$ の正負が把握できていない解答も見受けられました。
- (3) おおむねできていましたが， 最後の極限計算で間違えている解答も見受けられました。

VI

■出題のねらい

図形と方程式，三角関数に関する基本的な事項について問いました。

■採点講評

- (1) よくできていました。ただ， k の絶対値を使用している解答が若干ありました。
- (2) 残念ながらあまりできていませんでした。問題の意味がよく理解できていないと思われる解答が多数ありました。三角関数を含む式の変形と方程式について，よく復習しておきましょう。

V

■出題のねらい

2次関数の積分と3次関数の増減と接線に関する問題です。基本的な知識と計算力を問いました。

■採点講評

- (1) よくできていましたが，積分定数を忘れている人が少なからずいました。
- (2) よくできていました。
- (3) 接線の方程式を導くところまでは多くの人ができていました。しかし，点P以外で共有点をもたない条件がわからない人が多数いました。また，計算間違いをしている人も少なからずいました。

I

■出題のねらい

シートベルトの装着を促す装置に関する新聞記事を出典とする総合問題です。グラフを参照しながら英文を読み解く力が求められます。空所補充や並べ替えはその前後だけを見て解くのではなく、文全体を見て解く必要があります。

■採点講評

5つの大問のうちで最も難しい問題だったようです。特に正答率が低かったのは□1でした。この問題を解くカギは空所の後の **rules** です。日本語では「ルール上」ということから、②**on** を選んだ人が多かったようですが、英語では **under ... rules** のように表します。語の意味だけでなくコロケーション（語と語の結びつき）も覚えるようにしましょう。また、□4、□6も正答率は高くありませんでした。□4は選択肢から接続を表す語の問題と分かります。ポイントは何と何をつなぐのかです。①**However**、③**But**、④**Then** はいずれも先行する文とのつながりを示します。②**While** は1文中の2つの節をつなぐ従属接続詞です。従属接続詞の基本的な使い方を覚えておきましょう。□6は並べ替えですが、問題の箇所だけでなく文全体から考える必要があります。直前に **state-of-the-art safety** とあり、**devices** を続けると「最先端の安全装置」を表すことができます。なお、**safety** が名詞であることから **automatic** を続けることはできません。また **such as** という頻出表現の意味と使い方も覚えておきましょう。□3と□5は非常によくできていました。

II

■出題のねらい

基礎的な英語表現の知識を問う問題です。会話形式なので、前後関係を理解するとより容易に解くことができるでしょう。

■採点講評

正答率が低かったのは と でした。特に の正答率は20%未満でした。④ **For** と誤答した人が多かったようです。おそらく **For three months** (3ヶ月間) のような表現に慣れていたのでと考えられますが、ここでは **In three months** (3ヶ月以内に) が正答です。**for** と **in** では意味が異なり、例文を通して覚えておくことが大切です。また、 は④ **on the way to** を選んだ人が多く、非常に惜しい結果でした。この形式で「～へ行く途中で」と覚えているのだと思いますが、空所後の **home** は名詞ではなく副詞なので **to** が不要となります。そのため正解は① **on the way** です。**He came to my office.** と **He came home.** を比べてみると、**home** の使い方がより明確になるでしょう。

III

■出題のねらい

代理教師を題材とした先生へのインタビュー（会話形式）の問題です。質問、選択肢すべて英語で出題されていますが、平易な英語で書かれているので、丁寧に読めば難しい問題ではありません。

■採点講評

全体的に正答率が高めでした。正答率がやや低かったのは でした。これは **prepare for** — (～の準備をする) を知っていれば解くことができます。やはり、語の意味だけでなく典型的な使い方を知っておく必要があります。また、 も正答率はやや低めでした。この問題は本文全体を理解する必要があります。このような問題に対処するには、メモを取りながら読むといいでしょう。

IV

■出題のねらい

スポーツを題材とした総合問題です。読解力や理解したことをイメージする力などの受信的な力だけでなく、パラフレーズする力といった発信的な力も問われる問題です。

■採点講評

全体的によくできていました。4問のうち正答率が最も低かったのは [19] でした。これは本文中の **glued to** を言い換える問題ですが、これは「～にくぎづけになる」という意味です。誤答の原因は **glue** を知らなかったためと考えられます。ひょっとすると「のり・接着剤」という意味なら知っていた人もいるかもしれませんが、意味を知らない場合であれ、他の品詞の意味なら知っている場合であれ、文脈から意味を想像してみましよう。

V

■出題のねらい

電子楽器に関する新聞記事を出典とする総合問題です。本問では、基礎的な語法の知識だけでなく、文脈から意味を読み取る力や文の状況に即した意味を理解する力が求められます。

■採点講評

[I] に次いで正答率が低い結果となりました。空所補充の問題では [24] が最も難しかったようです。この問いは空所の後に挿入句があるため、やや読みづらくなっています。しかし、挿入句は長文には必ずと言っていいくらいあるので、慣れておく必要があります。ここでは挿入句の後の **under piano keyboards** とのつながりを考慮すれば、正解の② **located** が選べたでしょう。内容を問う [26] も正答率が低い問題でした。選択肢の英文が内容に合うか合わないかを判断する際には、本文中で根拠となる箇所を探すようにしましょう。また、メモを取りながら読むのもいい対処法です。[28] もやや正答率が低めでした。この問題は、状況に即した意味を理解する必要があります。**potential** は「潜在的な」という意味ですが、何が潜在的かは文脈で決まります。当該のパラグラフで、お金と時間がないために楽器を習っていないことが書かれています。これをもとに、お金と時間に余裕があれば習いたいと思っている人がいることが読み取れます。つまり、今は楽器を習っていないが始めたいという意味で潜在的なわけです。常に状況に即した意味を考えながら読む習慣をつけるようにしましょう。

I

出典 大塚英志『定本 物語消費論』

消費者が自らの手で物語を作り出す構造について解説した本です。論旨は明確で、筆者が述べる〈物語〉〈世界〉〈趣向〉等の用語の意味を理解すれば、難しくない問題でした。

問1【漢字の書き取り問題】（解答番号は□1～□7）

a 察知 b 抽出 c 割愛 d 形態 e 熟知 f 代償 g 符合 がそれぞれ正解です。同音異義語も含まれていますから文脈から判断することが大切です。完全正答率は受験者の3.2%でした。

問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は□8・□9）

空欄□Iには「端緒」「発端」の「端」が入りました。「端を発する」はそれがきっかけになって物事が始まるという意味です。空欄□II一行前の、〈物語ソフト〉の前段階としての〈世界観〉が歌舞伎の〈世界〉とたまたま一致しているという内容から導けます。正答率は□8が27.4%、□9が59.7%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ】（解答番号は□10）

空欄□アを含む段落の一文目「企業があらかじめ用意した」「擬似的な神話の体系」がヒントとなります。正答率は51.6%でした。

問4【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は□11）

第三段落目における〈物語消費〉の特徴③や、空欄□イの次の一文から、「ビックリマン」では消費者が〈物語〉を擬似的に創作するという内容が導けました。正答率は83.9%でした。

問5【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は□12）

空欄□ウを含む段落の一文目や、空欄□ウ直後の二文から正答が得られます。正答率は67.7%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は□13）

傍線部Aを含む文章およびその次の一文から正答が導けました。①は「日本神話と結びつきたいという願望」、②は「限定品として付加」、④は「管理者になること」、⑤は「パッケージ化された閉じた〈物語ソフト〉」、⑥は「現実の〈共同体〉と切り離された」が誤り。正答率は85.5%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は□14）

傍線部Bを含む段落の内容から〈趣向〉〈物語〉〈世界〉それぞれの意味を理解することで正答が得られました。正答率は51.6%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は15）

傍線部Cを含む段落とその一つ前の段落の内容から正答が導けます。本文で述べられた〈趣向〉〈物語〉〈世界〉の定義を理解しましょう。正答率は48.4%でした。

問9【内容合致問題】（解答番号は16・17）

正解は①・⑥です。②は第一段落最終文から誤りであることが分かります。③は「単純に享受する」、④は「パーツを集め、完成品を創り上げる」、⑤は「観客が〈物語〉を創出」、⑦は「歌舞伎の〈世界〉と別物」、⑧は「原作が趣向の中に埋没することはない」、⑨は「空想のものとして楽しみたい」がそれぞれ誤りです。完全正答率は17.7%でした。

問10【内容を理解して表題を選択する問題】（解答番号は18）

本文をよく読めば、一貫して物語消費の構造について書かれていることが分かるはずです。正答率は77.4%でした。

II

出典 日高敏隆『動物という文化』

生物の進化をどのように考えるかということを書いた文章です。目にすることの少ない用語もありますが、文脈自体は難しくありません。設問も問題文を丁寧に確認すれば解答できます。なお、正答率は低かった設問に関して示すことにします。

問1【漢字の書き取り問題】（解答番号は19～24）

a 誕生 b 淡水 c 有意義 d 配慮 e 一概 f 自尊心

「有意義」を「有意義」と間違えているものが目立ちました。

問2【空欄補充問題・文脈把握】（解答番号は25～27）

空欄Ⅰを含む前後の文脈は進化の歩みについて述べていることから解答を導くことができます。空欄Ⅱは、空欄Ⅰの直前にある「原始的な単細胞生物であるアメーバ」がヒントです。空欄Ⅲは傍線部Bの直後がヒントです。

問3【空欄補充問題・文脈把握】（解答番号は28・29）

空欄Ⅳを含む段落最後に「『方式』のちがい」とあります。この内容は傍線部Dの直後でも同じ内容のことを述べています。この個所を押さえることが正解を導くためのヒントです。正答率は40%でした。空欄Ⅴは問題文最後から2行目にある「文化の場合と同じく」に着目する必要があります。正答率は29%でした。

問4【内容理解】（解答番号は30）

選択肢の内容を本文と照らし合わせれば正解を導くことができます。ここの作業は丁寧にやる必要があります。

問5【文脈把握と内容理解】（解答番号は **31**）

①は「机上の空論」、②は「進化論を再構築」、③は「進化論を評価する」、④は「進化論を考え直す」という部分が、それぞれ間違っています。

問6【文脈把握と内容理解】（解答番号は **32**）

①は「柔軟かつ過剰に対応したもの」、②は「古代の動植物が駆逐されたという現象」、③は「現代人にしか当てはまらない」、④は文化を吸収する目的の内容、以上の点がそれぞれ間違っています。

問7【文脈把握と内容理解】（解答番号は **33**）

傍線部Dの直後と、直前の段落内容を押さえれば、正解は②になります。①は「誤りを多数確認できる」、③は論外、④は「支離滅裂な論理である」、⑤は「誇りを軽視した」、⑥は「今後の方向性」以下の部分、それぞれが間違っている箇所です。

問8【小見出し・内容把握】（解答番号は **34**）

原始的な単細胞生物が古代から生きている事実から、環境に適応することによって生きてきたことを述べています。よって正解は③です。

問9【小見出し・内容把握】（解答番号は **35**）

「パターン」がキーワードです。これを含むのは⑦だけです。正答率は47%でした。

問10【内容合致問題】（解答番号は **36**）

それぞれの選択肢の間違った箇所を記しておきます。①「ある生物に～種々様々な子孫を残す」、②「単細胞生物の位置づけが進化論の中でできなくなる」、④「自然淘汰によって人類が地球上に現れた」、⑥「クラシック・カーが便利で安全」、⑦「生きかたの歴史を解き明かす」、⑧「間違っていると世間で認識されるようになっている」以上です。正答率は21%でした。